

会議録

会議の名称	西東京市使用料等審議会 令和4年度第2回会議
開催日時	令和4年7月15日（金）午後2時00分から午後2時45分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	（審議会委員） 米田会長、小藤田委員、山田委員※ （事務局） 保谷企画部長、佐野企画政策課長、樽見企画部主幹（企画政策課）、 前川企画政策課主査、利根川企画政策課主任 堀文化振興課長、山本文化振興課係長、田村文化振興課主事 ※リモートでの参加
欠席者	熊谷委員、新田委員
議題	1 西東京市コール田無施設使用料の適正化について（諮問） 2 西東京市コール田無施設使用料の適正化について（審議） 3 その他
会議資料の名称	資料1-1 コール田無施設使用料について 資料1-2 令和4年度（令和3年度決算）使用料原価計算書 資料1-3 コール田無施設使用料算出表 資料1-4 市及び近隣自治体の類似施設との比較（コール田無）
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
<u>議題1 西東京市コール田無施設使用料の適正化について（諮問）</u> 市長から米田会長へ諮問 <u>議題2 西東京市コール田無施設使用料の適正化について（審議）</u> 事務局より資料1-1から資料1-4について説明 <質疑等> ○委員： 資料に令和3年度の施設利用率の記載があるが、単年度ではなく、過去からの推移を提示していただきたい。ただし、近年は新型コロナウイルスの影響を受けているため、利用率推移の確認に意味をなさないと思われる。 ○事務局： 感染症の影響を受けていない令和元年度の実績では、多目的ホールは7～8割、イベントルームは5割程度、会議室は5～6割程度、音楽練習室は7割程度の利用率であった。 ○会長： 1、2割はコロナの影響を受けたと考えられるか。	

- 事務局：
そのとおり分析している。休館や利用制限を行った時期もあり、思うように施設の利用ができなかった結果である。
- 委員：
市民会館が閉館したことにより、利用率は増えたのか。
- 事務局：
市民会館は平成30年度末で閉館した。市民会館の利用者が全てコール田無に流れているとは考えていないが、それ以降コール田無の利用は増えている。
- 会長：
音楽練習室やイベントルーム、会議室の料金を平日と土曜日・休日で変えていない理由は何か。
- 事務局：
多目的ホールは、発表会や講演会等、催し物での利用が多いと見込み、土曜日・休日を高く設定している。実際、土曜日・休日の利用率は高い。
- 会長：
イベントルームについては、そのような傾向はないか。
- 事務局：
イベントルームでも似たような使われ方をすることはあるが、規模が小さい。
- 会長：
イベントルームは食事ができるとのことだが、どのような利用ができるのか。
- 事務局：
コロナ禍で飲食の利用は制限しているが、従来はケータリング等の利用や飲酒も可能である。
- 会長：
施設の耐用年数は47年ということだが、まだ大規模な改修は必要としていないか。
- 事務局：
昨年度は冷却水ポンプや空調設備の更新を行った。築20年以上経過し、規模の大きい工事が必要となってくる時期である。
- 会長：
受益者負担割合の考え方は適正か。
- 事務局：
使用料・手数料等の適正化に関する基本方針に従った割合であり、適正であると考えている。

○委員：

使用料について、受益者負担割合を踏まえた原価計算結果よりは高いものの、他市と比較すると低廉である料金設定であることから、見直すべき理由はないと考える。

○会長：

西東京市コール田無施設使用料については、原価計算を行い、他市の料金と比較した結果、均衡がとれているため、本審議会としては現行の使用料を据え置くことが妥当であると考えがいかがか。

(異議なし)

○会長：

それでは、西東京市コール田無施設使用料については、現行使用料を据え置くことが妥当と判断する。

○会長：

答申については、案文を作成し、委員の皆様にご確認いただいた上で確定させていただくということによろしいか。

(異議なし)

○会長：

それでは、答申については、会長預かりとさせていただく。
そのほかに質疑はあるか。特になければ、次の議題に移る。

議題3 その他

○会長：

その他の議題はあるか。

○事務局：

次回の審議会は、11月頃の開催を予定している。

○会長：

了解した。他になければ、これで令和4年度第2回審議会を終了する。

(以上)